



日本共産党 北区議会議員

のの山けん区政レポート

<http://kyoukita.jp/nonoyama/> nonoyama@kitanet.ne.jp

No.400 2016.8.17

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

核兵器のない世界を

ヒバクシャ国際署名 草の根から広げよう

この提起にこたえ、草の根から大きく署名を広げましょう。

原爆の惨禍から71年目の8月6日と9日、広島と長崎で原水爆禁止2016年世界大会が開かれました。これに先立つ4日の国際会議で採択された「国際会議宣言」は、「核兵器のない世界」への扉を開こうとする新たな動きが生まれていることを確認、核兵器禁止・廃絶条約の交渉開始と締結を求める世論と運動を強めるため、「被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」（ヒバクシャ国際署名）を世界で数億人から集めようと呼びかけました。



ヒバクシャ国際署名の運動をすすめる決意が語られた原水爆禁止2016年世界大会—広島閉会総会 =6日、広島市中区

おかげさまで
区政レポート
400号

2006年9月から発行してきた区政レポートが、今回で400号となりました。いつもご愛読ありがとうございます。今後も国政や区政の課題から身近な問題まで、わかりやすいレポートづくりに努めてゆきます。引き続き応援よろしくお願いします。(のの山けん)



八雲神社で岩淵町盆踊り大会

6日、八雲神社の境内で開かれた岩淵町盆踊り大会。ご当地ソングの「岩淵なかよし音頭」などの曲にあわせて涼やかに踊りました。(のの山けん)



第71周年 光復節 中央記念式典

韓国民団 光復節中央記念式典

15日に江戸川区総合文化センターで開かれた光復節中央記念式典に参加。日本共産党から小池晃書記局長が参加しあいさつしました。(のの山けん)



可笑しいけど笑えない シュールでブラックなヒトラー映画

帰ってきたヒトラー

本物のヒトラーが現代にタイムスリップ。果たして庶民は彼をどう受け入れるのか―荒唐無稽ともいえるシチュエーション(状況設定)ながら、今日の社会に潜む独裁や排外主義復活の危険、そのことに無防備な「一般大衆」の脇の甘さにも警鐘を鳴らす問題作。

物語は、現代に復活したヒトラーと、クビにされたヒトラーが現代のテレビ局に「ヒトラーのモノマネ芸人」という特ダネで復帰を試みるTVプロデューサーを軸に展開する。プロデューサーがヒトラーを全国に連れ回し、その激似ぶりをアピール。ヒトラーが熱をこめて持論を展開すればするほど、「似てる」「超ウケる」などと人気は急上昇する。やがてヒトラーはユーチューブやSNS

といった現代の情報手段を武器に大衆の心を虜にしてゆくが…。ナチスを断罪する「顔のないヒトラーたち」や「ヒトラー暗殺、13分の誤算」とは一味違った、可笑しいけど笑えないシュールでブラックなヒトラー映画。ヒトラーを本物と知ったプロデューサーの末路が背筋を寒くさせる。(のの山けん)

この夏必見の 映画2本



卑劣な弾圧に芸術で反逆した 脚本家の真実のストーリー

トランボ ハリウッドに最も嫌われた男

ダルトン・トランボという名に馴染みがなくても、「ローマの休日」の脚本家だといえればピンと来る人も多いはず。そのトランボが実名を隠して映画の脚本を書いたことはあまり知られていない。

この映画は、観る者を「赤狩り」という名の反共主義が吹きすさんだアメリカの1時代へと引き戻す。1947年から54年にかけて米下院の非米活動委員会は、当時の映画人を片っ端から召喚し、共産党との関係を徹底的に尋問した。証言を拒否し、「共産主義者」のレッテルを貼られて投獄された「ハリウッド・テン」の一人がトランボだ。

だがトランボは出獄後、偽名を使って数々の脚本を書き上げる。ロバート・リッチの名でアカデミー賞を受賞した「黒い牡牛」も、後に彼の作品だと明らかになる。卑劣な弾圧に芸術で反逆する姿が胸を打つ。一方で反共主義の猛威に屈し仲間を売る映画人の荒み、心が離れてゆく家族と葛藤するトランボの描写もリアルだ。汚点の時代を直視できるハリウッド映画人の懐の深さに、心から敬意を表したい。(のの山けん)